

中学校第1学年 道徳学習指導案

1 主題名 「広い心」 内容項目 2-(5)

2 資料名 「自分らしさ—松井秀喜」 (出典 明日をひらく 東京書籍)

3 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

人はそれぞれ異なった立場に立っている。よって、それぞれの立場から見る角度や視点も異なり、物事についての見方が違ってくる。さらに、人は自分なりの角度や視点から物事を見る人が多いので、大抵の物事についてその全体を知り尽くすことは難しい。

そこで、自分のものの見方や考え方が全てではなく、ものの見方や考え方が人によってそれぞれ異なることに気付かせ、それぞれの違いを尊重する広い心を育てるように指導することは、意義深いことだと考える。

○生徒の実態について

中学生の時期は、ものの見方や考え方に違いが表れてくるとともに、個性がはっきりしてくる。そのために、自分の考えや立場に固執したりする傾向が強くなり、友人間の意見の対立や摩擦が生じることも少なくない。

事前アンケートでは、「自分とは違う考えでも、聞こうとする」の質問に対して、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は34名中32名(96%)だった。そこで、生徒同士の交流を取り入れ、それぞれの考え方に違いがあることを認め、それぞれの違いを尊重しようとする広い心を育てたい。

○資料について

本資料「自分らしさ—松井秀喜」は、松井秀喜さんの小学校時代と巨人時代にプロ野球選手として活躍していたときのエピソードを資料化したものである。資料は大きく3つの場面で構成されている。1つ目は、ライバルは凡退して数字が下がるのを防ぐために、最後の数試合はほとんど打席に立たなかった。ライバル選手に批判する声がある中、松井選手はライバル選手の立場で発言をしている場面。2つ目は、小学校1年生のとき、友達をかばっていた場面。3つ目は、試合中にデッドボールを受けた場面において、相手の立場で発言を行っている場面である。広い心で接することで、他者の立場や考えを認め、他者の立場を尊重することの大切さを考えるのに適した資料である。

○指導について

指導に当たっては、導入で「クラスの人と自分の考えが対立したことがありますか。」のアンケートを紹介し、自分の行動を振り返らせたい。展開では、松井秀喜さんのプロフィールを紹介し、資料につなげたい。その後、三冠王を逃したところの場面で、ライバル選手の行動について考えさせる。後半では、松井秀喜さんが人との関わりで大切にしているところを考えさせたい。考えたことをグループで交流させて、他のグループの考えを深めさせたい。最後に、自分の事として捉えさせ、相手の立場や考えを認め、尊重することの大切さを実感させたい。

4 本時のねらい

人にはいろいろなものの見方や考え方があることを理解させ、相手の立場や考えを尊重しようとする態度を育てる。

5 展開(形成的評価：●達成不十分な生徒への指導)

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1 友達との関わりについてのアンケート結果を知る。	○このアンケート結果を見て、思うことはありますか。 ・ある ・ない	・友達と意見が対立したことがありますかのアンケート結果を提示し、説明をすることで、自分の行動を振り返らせる。
展 開	2 松井秀喜さんを知る。	○この写真の人の名前を知っていますか。 ・松井秀喜さん ・知らない。	・「松井秀喜さんは何をやっていた人でしょう」を追発問する。 ・松井秀喜さんが野球選手だったことを確認し、プロフィールを紹介する。
	3 資料「自分らしさー松井秀喜」を聞き、考える。	○一番心に残ったところは、どんなところですか。 ・三冠王になれなかったところ。 ・小学生だったところ。 ・デッドボールのところ。 ・敬遠のところ。 ○ライバルチームの好打者が、打率部門でトップを取るために、最後の数試合はほとんど打席に立たなかったことを、あなたは、どう思いますか。 ・ずるい。 ・仕方ない。 ・人それぞれだから、それもある。 ◎松井秀喜さんが人との関わりで大切にしているところは、どんなところだろう。 ・相手を認める。 ・他人の発言や行動を、頭から否定しない。 ・他人の行動や人格を否定する言葉を言わない。	・事前に準備していた場面を黒板に提示する。 ・ライバルチームの選手が打席に立たないことのメリットや三冠王を取ることの難しさ、打率部門でのトップをとることの大切さを説明した後、発問に入る。 ・ワークシートに書かせてから、グループで意見を交流させる。 ・司会者、発表者を決めることを伝える。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">相手の立場や考えを尊重していることを考えたことを、ワークシートに書いている。 ●心に残った場面を振り返り、書くように声掛けをする。</div> ・グループごとに発表させ、考えを広める。
終 末	4 本時の感想を書く。	○松井秀喜さんの生き方を学んで、相手の立場を尊重することの大切さがわかりましたか。これからどんな場面で、相手の考えを尊重できると思いますか。	・発表をさせて、考えを共有させる。

6 評価の観点

人にはいろいろなものの見方や考え方があることを理解し、相手の立場や考えを尊重しようとする態度を育むことができたか。(ワークシート)